

科目名	現代社会と生命科学		
英語科目	ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照	
開講期	春学期	開講学部等	生命科学部
教員名	川上 雅弘, 木村 成介, 佐藤 賢一, 三瓶 由紀, 染谷 梓, 寺地 徹, 西田 貴明, 野村 哲郎, 前田 秋彦, 若林 憲一	配当年次	3年次
		単位数	2単位

授業概要／Course outline

生命科学は他の多くの分野と連携し、複合的で大きな学問分野に発展している。そのため、多くの社会的問題は生命科学とつながり、その解決には生命科学の理解に基づいた思考と実践が必要である。本授業では、生命科学が社会にもたらす意義と問題点に触れ、解決すべき問題の本質を考えていく。また、3年次秋学期以降、各研究室に所属し、生命科学の知識を用いて実践的に課題解決に取り組むための準備をする。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション）

少人数による対話や問いづくり、情報交換および共有をおこなう。口頭発表やオンラインワークシート記入などによるプレゼンテーションをおこなう。

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド授業の実施のために動画視聴コンテンツなどを提供する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回：ガイダンス（全教員）

第2～4回（全教員）：現代社会における課題と生命科学①～③

産業生命科学科の各教員が、それぞれの研究室で取り組んでいる研究テーマを題材に、現代社会における課題と生命科学とのかかわりについて、具体的に紹介する。

第5回（全教員）：分属説明会

3年次秋学期以降、各人がいずれかの研究室に所属し、生命科学の知識を用いて実践的に課題解決に取り組む。そのための研究室選択の方法等について説明する。

第6、7回（全教員）：現代社会における課題と生命科学④、⑤

産業生命科学科の各教員が、それぞれの研究室で取り組んでいる研究テーマを題材に、現代社会における課題と生命科学とのかかわりについて、具体的に紹介する。

第8、9回（全教員）：分属調査、進路ガイダンス、分属決定など

第10～14回（佐藤）：生命科学研究の最先端トピックと現代社会

生命科学研究の最先端トピックを扱った英文総説論文の内容理解、現代社会問題の特定、グループ発表準備、グループ発表、学びの振り返りなどを行う。

★オンデマンド授業の代わりに、受講生は産業生命科学科教員の研究室訪問を行い、それぞれの研究室がどのような社会課題に取り組んでいるのか学修する。詳細については、授業中に連絡する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回

【事前学習】 シラバスを読んでおく

【事後学習】 次回授業の予習。詳細はmoodleを確認すること。

第2、3、4、6、7回、

【事前学習】 moodleを確認し、配布資料などを読んで予習する。

【事後学習】 moodleを確認し、課題に取り組む。

第5回

【事前学習】 moodleに掲載された各研究室の紹介資料に目を通しておく

【事後学習】 各研究室を訪問する。

第8、9回

【事前学習】 moodleを確認し、配布資料などを読んでおく。

【事後学習】 進路センターの支援員と面談の上、自分の進路について熟考する。

少なくとも1社のインターンシップにエントリーし、実社会にどのような課題があるのか、実践的に体験する。

第10～14回

【事前学習】 次回授業資料の通読など（1～2時間程度）。

〔事前学習〕学習プロセスと内容の振り返り（授業内容のキーワードとトピックセンテンスの抽出、問い立てなど）（1～2時間程度）。

★研究室訪問

〔事前学習〕各研究室の紹介資料をよく読み、質問事項などをまとめる。事前に各教員に連絡し、訪問日時を決定する。

〔事後学習〕各研究室で聞いた話などを整理し、研究室選択について熟考する。

授業の到達目標／Expected outcome

生命科学の専門知識・技術が関わる、あるいは今後関わりうると考えられる社会課題（医療・公衆衛生、農・畜産、環境・生態など）について、その学術的意義や現状、ならびに社会のニーズなどについて、幅広い教養と自らの意見や考えを発信する能力が身に着くようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|--------|-------------------|
| ・幅広い教養 | 専門知識・専門技能 |
| ・発信力 | 【生命科学部 産業生命科学科】 |
| | ・生命科学の視点からの課題解決能力 |
| | ・論理的対話能力 |
| | ・生命科学の基礎知識 |
| | ・生命倫理観 |
| | ・生命科学の社会での活用能力 |
| | ・生命科学の普及と活用に関する知識 |

履修上の注意／Special notes, cautions

無断遅刻・無断欠席は大幅に減点する。

評価方法／Evaluation

第1～9回（全教員）：毎回の授業時に作成・提出を求める振り返りワークシートなど。詳細は授業中に連絡する。

第10～14回（佐藤）：毎回の授業時に作成・提出を求める振り返りワークシート（30%）、各種の個人およびグループでの課題への取り組み状況（50%）および担当全5回授業終了後の振り返りワークシートの取り組み状況（20%）により評価する。

教材／Text and materials

適宜、資料をmoodleあるいは科目チームズにアップする。

質問や相談の方法／Instructor contact

メールやオフィスアワーを利用すること。